

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム笑苑

作成日: 平成23年 8月 26日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	全盲の方や経管栄養の方2名が、他利用者の方々に比べ交流が少ない。	現在も交流を行っているが、こちらから出向き、交流と刺激を求めていく。	2名の方をマンツーマン体制で十分な体調確認を行い、車椅子を使用し、近くのスーパーなどで社会の雑踏を味わって頂く。	4ヶ月
2	16	災害対策として主に火災を想定して訓練と救命に力点を置いている。	火災訓練や救命等は当然であるが、地震、竜巻等も想定内となるようにしていきたい。	停電や断水などを想定して勉強会を重ね、緊急連絡網の再確認や不測の事態に対応する状況を全員で共有する。	6ヶ月
3		認知症という病気が入居の必須条件であるが、1年未満の職員の底上げが不足している。	研修会参加の支援をする事により全職員の底上げが出来る。	研修費用は全面的に支援しているが、出勤扱いや出張費用も検討していく。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。